



2019 ピレリスーパー耐久シリーズ 第3戦 富士 SUPER TEC 24時間レース

年間通して最も過酷なラウンド 24時間レース
天気予報では不安定な天気になる恐れもあったが、
幸い天候にも恵まれ参戦する方も観戦に来場された
方々にとっても過ごしやすいレースとなった。

ドライバーはもちろんエンジニアやメカニック
マネージャーや食事の用意や差し入れを持って来てく
れた方々、正にチーム一丸となって戦いました。

また、この24時間に挑戦した全てのチームと関係者
の皆様にご心より敬意と拍手を送りたいと思います。



#38 ADVICS muta racing RC350 TWS

ST3

予選結果 7位

決勝結果 3位

A:Dr 堀田 誠

B:Dr 坂口 良平

C:Dr 堤 優威

D:Dr 新田 守男



今回から後期型のヘッドライトとバンパーに変更し、富士に持ち込む。フロントオーバーハングはやや軽量されたものの、ウェイトハンデは大きく予選では苦戦を強いられる。

が、あくまでもレースは24時間。あまり気負いせず決勝に望む。

序盤はハイペースな攻防が続く。

当車両も、もちろん食らいつくようなレースを展開する。

が夜間に他車と接触のアクシデントが発生。緊急ピットインにて修理作業を行う。この後は猛追を始め数時間後には2位も射程圏内に入るといふ頃、接触による後遺症かフロントサスペンションメンバーに深刻なダメージが……。応急処置を施したものの残りはこの段階で8時間。

ドライバーは車を労わりながら、しかしペースを崩さず難しい境遇の中無事チェッカーまで運び3位チェッカーとなった。

39 5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY

ST3

予選結果 6位

決勝結果 2位

A:Dr 下垣 和也

B:Dr 大島 和也

C:Dr 近藤 説秀

D:Dr 伊藤 裕仁

E:Dr 廣島嵩真



今回は事前テストにも積極的に参加し、全員がレースに向けて練習を行った。予選では今までになく好タイムを記録し、士気も高まる。

決勝が始まりタイヤ温存を意識しながら順調にラップを重ねる。多少予定よりタイヤ交換スパンが短くなったものの、あくまでも自己ペースを狂わす事なく、車を労わりながら昼も夜も流れ作業のように淡々と個々に仕事をこなすといったレースを展開する。

結果これといったハイライトがなくチェッカーまで・・・

「何も起こらない」が難しい24時間レースですが、無理なく走れる車作りとドライビングで今期最高位の2位というポジションを得た。

#5 5ZIGEN ADVICS SPV 86

ST4

予選結果 8位

決勝結果 4位

A:Dr 山本 謙悟

B:Dr Kenny Lee Wan Yuen

C:Dr Tang Tien Foo Roy

D:Dr 三島 優輝

E:Dr 山田 遼

F:Dr 糺飼 龍太



今回も熾烈な争いが予想された4クラス。

予選ではBドライバーの攻撃中に電気系のトラブルを抱え、
下位に沈んでしまった。

しかし24時間を戦う上で数メートルのハンデは大きな問題ではない
と決勝に向けて万全のメンテナンスを行う。

決勝が始まり上位陣は猛烈なペースでレースをリードするも、
大きく離される事なく追従する。

しかし、夜中を過ぎる頃一部の86勢に異変が・・・。

駆動系にトラブルを抱える車両が相次いだ。

当車両も労わりながらの走行をしながらも時を同じくして

ミッションにトラブルを抱える。迅速に交換作業を行いトラックに戻す。

ウィークポイントの多い86ですが後は無事に走りきり4位でポイントを得た。



